

農業インターンシップの目的とルール

（一般の農業体験コース）

■農業インターンシップ体験の目的

この体験は、経営管理・販売戦略・生産技術等の総合的な経営能力が全国的にトップレベルである農業経営者の下で就業体験を行うことで、①農業への理解を深めてもらうこと、②農業法人等への就職を具体的にイメージしてもらうこと等を目的としています。体験にあたっては、こうした目的をよく理解しておいてください。

また、この農業インターンシップが、受け入れ先の農業経営者のご協力のもとで実施されていることを十分理解してください。

■農業インターンシップ体験の内容

- ①体験期間：通年実施します。体験期間は1週間以上6週間までとします。
※ただし、年末年始・GW・お盆休みは無理な場合が多いです。
- ②報酬：農業インターンシップ体験生への報酬はありません。
- ③体験時間：休憩時間等は受け入れ法人の就業規則に従います。休日は1週間あたり2日以内です。
- ④体験内容：受け入れ先の従業員やパートの方と一緒に作業をすることにより、農業法人に就職した場合を体験してもらいます。体験内容は作目・地域・季節等によって異なるので、実際の作業等は受け入れ法人の方針によります。また、農繁期など忙しい時期における体験では単純作業が多くなることもあります。農業インターンシップ体験生のための特別な座学などはありませんので、自分から積極的に質問等をして、吸収してください。
- ⑤経費：参加費は無料です。ただし、交通費は自己負担（体験生負担）です。
（宿泊費・食費は受け入れ法人の負担になります。）
- ⑥その他：農業インターンシップ体験は、原則として住み込み（社宅等を含む）とします。食事中の会話等を通して、農業経営者や従事者の話を聞き、日本農業の姿を知ってもらうのもこの制度の目的です。ただし、体験先が自宅から通える場合はその限りではありません。
- ⑦農業実習総合保険の加入：万が一の場合に備えて、保険に必ず加入していただきます。
※保険の手続きは、事務局で行い、費用は事務局負担です。体験に入る前に、保険の案内には必ず目を通しておいてください。
- ⑧守秘義務：農業法人は企業ですので、当然、企業秘密があります。修得した情報を安易に口外するのは避けましょう。申込書の誓約書を良く確認の上、必ず提出してください。
- ⑨研修先に必ず持参するもの：運転免許証（取得者のみ）と健康保険証（コピーでも可）。

■注意事項

- ①受け入れ台帳を見て、直接、法人に体験を申し込まないでください。必ず事務局を通してください。
- ②申込書は受け入れ農業法人にFAXをしますので、分かりやすく丁寧に記入してください。この申込書に意欲を感じられないときは研修をお断りすることがあります。また、農業法人が受け入れを検討するため、電話等で簡単な面接をすることがあります。
- ③事務局から連絡があり、受け入れ先が決まったら、早めに先方と連絡を取って持ち物や先方までの行き方等を相談してください。受け入れ先によっては貸し出しを行っている場合もあります。また、交通手段や到着時間等も先方の都合があると思いますので、必ず連絡をとりましょう。
- ④体験に対する姿勢や健康状態、天候等によっては、受け入れ法人の判断により研修を中止することもあります。
- ⑤体験中に受け入れ法人等に相談しづらい悩みごとや疑問があれば、事務局に相談してください。
- ⑥体験を中止・変更する場合は必ず事前に事務局まで連絡してください。

■心構えとして

- ①この事業は農業法人のご厚意の上に成り立っていることを心に留めてください。経験も知識もなく、短期間しか滞在しない体験生を、宿泊費・食費を負担してでも受け入れようというのは、これからの日本を担う若者にもっと農業を知ってもらいたいという意識からです。そこをしっかりとふまえ、積極的に動き、発言し、精一杯吸収してきてください。
- ②農業インターンシップは、就職が前提ではありません。また逆に、体験先に優先的に就職できるというわけでもありません。

■参考

これまでの参加者が体験した作業内容は以下の通りです。ただし季節・期間・受け入れ先によって、体験できる作業は限られますのでご了承ください。

- ◇稲作→藁撒き・肥料撒き・水管理・稲刈り・乾燥調整・精米・配達
- ◇野菜→播種・育苗・定植・ホルモン処理・箱づくり・収穫・包装・出荷・トンネル張り・マルチ張り・ハウスの建設
- ◇果樹→袋取り・収穫・箱詰め・(観光農園の)接客・ビニール被覆
- ◇花卉→土入れ・播種・移植・芽かき・挿し木・芽接ぎ・ハウス管理・温室内除草剤散布・市場での仕入れ・出荷・配達
- ◇きのこ→菌接種・温室管理
- ◇造園→圃場管理・実際の施工
- ◇酪農→搾乳・飼料調整・給餌・哺乳・分娩立ち会い・除糞・ブラッシング
- ◇肉用牛→給餌・去勢・治療・体重測定・出荷・子牛の導入・除糞
- ◇養豚→分娩舎での子豚管理、分娩処理・除糞・出荷
- ◇採卵鶏→清掃・集卵・軟卵の除去・死鶏の除去・除糞・鶏卵のパック詰め・サルモネラ検査
- ◇その他→トラクター実習